

## 資料6 環境関係表彰受賞者

### 1 令和2年度環境保全功労者等の表彰(環境大臣表彰 令和2年6月)

#### (1)受賞者

＜地域環境保全功労者＞

株式会社山梨中央銀行(甲府市)

北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会(北杜市)

＜地域環境美化功績者＞

富士島建設株式会社(韮崎市)

オルビス株式会社(東京都品川区)

#### (2)功績概要

＜地域環境保全功労者＞

・株式会社山梨中央銀行(甲府市)

山梨県が推進するやまなしクリーンキャンペーンやエコドライブ運動への参加、里地里山の保全、富士山の清掃活動をとおして、環境美化・環境保全活動を継続して実践している。

・北杜市地球温暖化対策・クリーンエネルギー推進協議会(北杜市)

北杜市の豊かな自然を守り、次世代へとつなげていかなければならないという理念のもと、環境保全及び環境教育に関する様々なイベントや環境学習など精力的に活動を行い、地球温暖化対策の普及啓発など地域に大きく貢献した。

＜地域環境美化功績者＞

・富士島建設株式会社(韮崎市)

同社の協力会社30社の社員と共に、韮崎市内の公園や県道等の清掃活動を継続して実施している。

・オルビス株式会社(東京都品川区)

甲州市と公益財団法人オイスカと共に、甲州市の市有林約100haを「甲州市・オルビスの森」と名付け、森林整備を行っている。

### 2 令和2年度山梨県環境保全功績者表彰(知事表彰 令和2年6月)

(1)受賞者 団体:甲府市立甲運小学校(甲府市)

団体:北杜市立甲陵中学校(北杜市)

(2)受賞理由 多年にわたり、地域の環境保全活動に尽力するとともに環境保全思想の普及・啓発に努め、地域の模範となっている。

### 3 令和2年度「ふれあいの森林づくり」(国土緑化推進機構会長賞 令和2年9月)

#### (1)受賞者

丹波山村

#### (2)功績概要

同村は、水源地域の森林荒廃を食い止める策として、企業のCSR活動を活用し、都市部と民間企業と協働した森林整備活動を行っている。CSR活動を行うに当たり平成19年に森林保全活動に関心が高い(株)東急ホテルズと、仲介を行った(公財)オイスカとの三者による森林整備協定が締結された。森林は「東急ホテルズ・グリーンコインの森」と名付けられ、現在まで3期10年にわたる活動をしている。

(株)東急ホテルズが取り組む環境保全活動の「グリーンコイン」制度では、ホテルの利用客がアメニティを使用しなかった時、客室に置かれたグリーンコインをフロントに持ち込むことで、アメニティの金額相当を環境保全活動の基金とする取り組みであるが、令和元年からプラスチック製であった「グリーンコイン」を丹波山村の間伐材を使用したものに順次切り替えており、間伐材の利用とともに農村と都市部の交流についても更なる需要拡大が期待される。

### 4 令和2年度全国育樹活動コンクール(林野庁長官賞 令和2年9月)

#### (1)受賞者

「富士山の森づくり」推進協議会

#### (2)功績概要

同会は、平成14年に鳴沢村の山梨県有林において、蛾の幼虫による食害により約139haの森林の立枯れ被害が発生し、平成19年に県が同地を「ボランティアの森」に指定したことを受け、平成20年に同地を早期に再生させることを目的として、東京電力(株)、(公財)オイスカが発起人となり県内外の企業等総勢21団体により発足した。

活動は県と連携し、ブナ等の広葉樹の植栽・保育、森林の再生を促すため地拵・植栽、下刈、モニタリング調査等を行い、企業・団体及び家族が現在までのべ約1万人が参加しており、富士山エリアにとどまらない森林環境教育の普及効果が発揮されている。

広大な土地で統一した森づくりを行うため、自生種の種を採取し育苗したものを使用、1haあたり1000本の苗木を天然林の配置をイメージしてランダムに植栽するなどの基準を設け、活動地域全体で調和のとれた森が作られている。

### 5 令和2年度全国学校関係緑化コンクール

(学校林等活動の部 国土緑化推進機構理事長賞 令和3年2月)

#### (1)受賞者

甲府市立北東中学校

#### (2)功績概要

同校は、「自然に親しむ場」として、先人から受け継いできた森林の生物多様性の保全を目指し、甲府市森林整備課の指導と協力を得ながら保育、整備を続けている。

1年生全員が活動に参加し、森林体験学習、植栽、学校林整備を行っている。森林体験活動ではネイチャーゲームにより五感を使って自然を感じ取る活動を行い、植栽は甲府市水源林において一般参加者とともにミズナラの植栽に参加し、学校林整備では昨年度植栽したヤマザクラ等の健全な生育のため、苗木周辺の下刈りや苗木の支障となる枝の剪定を行った。

活動を通じて、森林の持つ役割への理解を得ることができ、地域の一員ひいては自然の一員であることの実感を得ている。

(学校環境緑化の部 国土緑化推進機構理事長賞 令和3年2月)

#### (1)受賞者

南部町立南部中学校

## (2) 功績概要

同校は、「全教育を通して、児童の緑づくりを主体とした環境への関心を高めるとともに実践力を醸成する。」「日常活動の充実と特設の時間を通して、きれいな学校作りを目指し、全校で取り組もうとする意識を育てる。」を目標に環境緑化へ取り組んでいる。

主に園芸委員会が中心となり、花の植栽・水やり・手入れや内船駅において緑の募金運動を行うほか、全校生徒で学校内の除草作業や支援学級による菊作りを行っている。

町内全域にわたる資源回収を生徒保護者が中心となって実施したり、「富士川クリーン活動」として富士川及び富士川支流周辺のゴミ拾いを行うなど、地域と連携して美化活動に取り組み、郷土愛や人との繋がりの大切さを学んでいる。

## 6 令和2年度緑化功労者(農林水産大臣賞 令和3年2月)

## (1) 受賞者

市川 巖

## (2) 功績概要

氏は、44年の長きにわたり、森林管理の重要性を認識し、積極的に間伐材の利用方法の立案・製品化及び普及を図るとともに、森林整備から生じる林産物の加工・販売に携わっており、地域林業の発展に尽力した。

氏が生まれ育った南部町では、豊かな森林に囲まれているが、昭和50年代からの木材需要の低下により林業生産が停滞し、間伐が進まない状況にあった。そのような事態に危機感を抱いた氏は間伐材を活用した製品を商品化・普及させることで、間伐の促進につなげ、森林整備が進み林業の発展につながると考え、間伐材の積極的な活用、製品化を進めた。

まず、木製法枠を製品化させ、昭和62年からはログクラフトに注目し、ログハウス建設事業を始め、これまでに県内外で50棟以上のログクラフトを建設している。さらに、愛媛県森林組合からの特許使用許可を受け、ウッドブロックと木製ガードレールの製品化や、近年では治山堰堤の残存型枠を製作し、積極的な間伐材の利用を行い地域林業の振興に貢献している。

また、南部町には竹林も多く、担い手の減少により竹林の荒廃が起きていることについても氏は問題意識を持っており、「なんぶ里山研究会」を設立し竹林整備を行い、整備から生じた竹はチップ化して堆肥として利用するほか、近年ではメンマの生産を試みるなど、荒廃した山林の再生や多岐にわたる材の有効活用に取り組んでいる。

## 7 令和3年度さくら功労者(令和3年3月)

## (1) 受賞者

しだれ桜を守る会

## (2) 功績概要

同会は平成31年に山梨市牧丘地区の地域住民によって組織され、同地区の「乙ケ妻(おっかつま)のシダレザクラ」を保護・育成している。シダレザクラは推定樹齢が250年、樹高が8.7mあり、市の天然記念物に指定されており牧丘地区のシンボルとなっている。花見や盆踊りの会場として地域住民から親しまれているシダレザクラを将来にわたり保護・育成するため、草刈りや肥料散布を行うほか、訪れた人楽しんでもらえるよう遊歩道の整備や案内板の設置などを行っており、桜の保護と利用者の利便性の向上に効果がある活動をしている。

(受賞者の氏名は敬称略で記載しています)